

2019年11月15日

三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

自社ブランド太陽光発電システムの製造・販売を終了し、京セラ株式会社とのパートナー連携を開始
再生可能エネルギーを有効活用する統合ソリューション提案を強化

三菱電機株式会社は、自社ブランドの太陽光発電システムの製造・販売を 2020 年 3 月下旬を目途に終了、再生可能エネルギーを有効活用する ZEH^{*1}、ZEB^{*2}、V2X^{*3}などの製品・システム・サービスに注力し、低炭素社会の実現に向けた統合ソリューション提案を強化します。

また、ソリューション提案における太陽光発電システムに関しては、京セラ株式会社（京都府京都市）と、同社製品を当社事業で活用するパートナー連携を開始します。

*1 ZEH : net Zero Energy House

*2 ZEB : net Zero Energy Building

*3 V2X : Vehicle to everything

事業内容の見直しの背景と今後の展開

再生可能エネルギーの主力電源の一つとして位置づけられる太陽光発電は、国内では 2012 年に固定価格買取制度（FIT 制度）が導入されて以降、急速に普及しました。その一方、国内の太陽光パネル市場には多数の海外メーカーも参入し、主に業務用において競争が激化し、これまで当社が強みとしてきた製品の長期信頼性や狭小屋根への設置性などに対する市場評価が相対的に低下しています。

このような背景から、当社は自社ブランド太陽光発電システムの製造・販売を 2020 年 3 月下旬を目途に終了し、その経営資源を他の成長牽引事業群に活用するとともに、再生可能エネルギー分野においては、ZEH、ZEB、V2X などの当社がより強みを発揮できる分野に引き続き注力していきます。また、今後は関連する当社グループ内の事業連携により、再生可能エネルギーを有効活用する製品・システム・サービスの提供強化を図るとともに、その中で必要となる太陽光発電システムに関しては、高い信頼性が評価されている京セラ株式会社製品を当社販売ルートで紹介するなどのパートナー連携を強化していきます。製品・システム・サービスの提供を通じ、「持続可能な社会」と「安心・安全・快適性」が両立する社会の実現を目指していきます。

事業内容見直しの概要

対象製品	自社ブランド太陽光発電システム
関連製作所	三菱電機株式会社 中津川製作所(岐阜県中津川市) 京都製作所(京都府長岡京市)
見直し内容	自社ブランド太陽光発電システムの製造・販売を 2020 年 3 月下旬を目途に終了
京セラ株式会社との連携内容	京セラ株式会社製太陽光発電システムを組み込んだ ZEH、ZEB 向けの提案 (製品・PPA ^{*4} サービスなどの提案)

*4 PPA : Power Purchase Agreement

当社の業績への影響

本件による当期（2020 年 3 月期）の連結業績予想の修正はありません。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 電材住設スマート計画部 電材住設スマート計画グループ

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL 03-3218-2177